

2013年(平成25年) 8月29日 木曜日

本番前に模擬面接会

就職希望の10人参加

古仁屋高

瀬戸内町の県立古仁屋高校(佐久間健士校長、生徒125人)で

28日、卒業後に就職を希望する3年生を対象にした就職試験の模擬面接会があった。面接

官の質問に対する受け答えなど面接試験の一連の流れを確認し、9月中旬以降に控える本番の試験へ向けて気を引き締めた。

同校では本年度、3年生44人中13人が就職を希望。このうちほと

んどの生徒が関東や関西での就職を志望しているという。

面接会は集団面接形式であり、10人が参

加。同町商工会や同町教育委員会、名瀬公共

職業安定所などから6人が面接官役を務め

た。生徒たちは①志望

理由②仕事の内容を把握しているか③仕事で

重要視することなど

の質問に答え、面接官役からは正しい言葉使

いや面接中の態度など



就職試験を前に古仁屋高であった就職模擬面接会=28日、瀬戸内町古仁屋

古高生就職活動 地域がサポート



模擬面接会に協力

瀬戸内町の県立古仁屋高校(佐久間健士校長)は28日、来月中旬から始まる就職希望者の選考・採用内定開始を前にした「就職模擬」

【面接会】を同校で実施した。面接官として受けた生徒らは、間近

町内の有識者が協力に迫った選考・採用に備えた。本番ながら、緊張感のある模擬面接をするなど、地域で生徒達の就職活動をサポート。

同校進路指導部によ

ると、今年度の就職希望者は3年生全44人の中13人。面接会は校長室と会議室の2会場

であり、生徒は4組に分かれて集団面接を受けた。

面接官は、就職支援員や名瀬職安の職員に

加え、同町商工会員や、古仁屋郵便局長、同町教育委員長など町内の有識者も協力。生徒らは普段の練習とは違つた雰囲気のなか、緊張しながらも真剣な面持ちで模擬面接会に臨んでいた。

二石政彦教頭は「面接官役をお願いしたところ、快く引き受けた。地域あつての古仁屋高校との思いを日々強く感じている」と感謝した。

外部の有識者の協力を得て行われた古仁屋高校の就職模擬面接会

県外の運送業への就職を希望する貞宏樹君(17)は「緊張したが、(面接官に)言葉遣いなどについて助言をもらい、ためになつた。体力に自信があり身体を動かせる仕事に就きたい。就職活動は悔いが残らないように全力で頑張る」と意気込んだ。

同校進路指導を担当する仮屋園心教諭は

二石政彦教頭は「面接官役をお願いしたところ、快く引き受けた。地域あつての古仁屋高校との思いを日々強く感じている」と感謝した。